

# 豊中市・沖縄市兄弟都市提携 40 周年の取り組み

分類	名称	ページ
広報	兄弟都市提携 40 周年を記念したロゴマーク	2
	広報誌で兄弟都市を紹介	2
	交流のあゆみ写真展	2
平和	中学生平和大使 相互交流学習	3
	平和講演会・平和大使学習報告会	3
	平和資料巡回展	3
教育	小学生テレビ会議	4
	学校給食に沖縄食のメニューが登場！	4
	長寿の秘訣 沖縄料理に学ぶ	4
	中央公民館まつり	4
	三線とギターが奏でる沖縄コンサート	4
	島唄が結ぶ平和の心(三線演奏・講演会)	4
	コラボまつり企画 島うた演奏	4
	沖繩市市民ミュージカル「コザ物語」	5
文化芸術	照屋林賢・上原知子(りんけんバンド)三線ワークショップ	5
	文化芸術団体の沖繩市文化祭参加	5
	沖繩市役所ロビーコンサート(トピックスに記載)	9
スポーツ	北摂連盟杯(沖繩市選抜サッカーチーム来豊)	6
	兄弟都市の子どもたちがスポーツ交流	6
	コザ高校ラグビー部 公開練習	6
産業	とよなか産業フェア	7
	豊中市農業祭	7
	沖繩市産業まつり	7
行政間の交流	豊中市・沖繩市共同研究	7
	テレビ会議「ちよーでー(兄弟)会議」	7
式典	兄弟都市提携40周年記念式典	8

## ■豊中まつり実行委員会主催事業等

豊中コザ高 市民応援団	6
兄弟都市提携 40 周年市民交流ツアー(企画協力)	9
市民大交流会(共催)	9
豊中まつり前夜祭(エイサー道ジュネー、市民交流会)	10
豊中まつり 2014(音舞台でのエイサー演舞、締太鼓づくり・エイサー体験ワークショップなど)	10



発行：豊中市 編集：人権文化部 文化芸術室

本冊子は、豊中市・沖縄市兄弟都市提携 40 周年事業について、豊中市が報告書としてまとめたものです

# 豊中市・沖縄市 兄弟都市提携 40 周年事業報告書



平成 27 年(2015 年)3 月



# 兄弟都市宣言のいきさつ

豊中市と沖縄市の交流の始まりは、昭和39年(1964年)にコザ市(のちの沖縄市)から、豊中市に住んでいる沖縄戦の戦没者の遺族にと、霊石と仏桑華(ハイビスカス)が届けられたことです。そのきっかけとなったのは、当時の豊中市の竹内義治助役(故人・昭和41年から市長)が、沖縄道路事情視察団の一員として沖縄を訪問した際に、コザ市(のちの沖縄市)の大山朝常市長(故人)と懇談する機会があったことでした。翌年の昭和40年から、コザ市職員の豊中市役所での様々な部局での研修が始まりました。当時アメリカ軍の統治下にあった沖縄では、日本の行政事情が分かりにくかったのです。コザ市職員の間では「豊中学校」と呼ばれたこの研修に訪れた職員は、昭和50年代にかけてのべ100人あまり、なかには数か月にわたって研修を受けた職員もいました。

昭和47年(1972年)に沖縄が本土に復帰し、昭和49年(1974年)にコザ市と美里村が合併して「沖縄市」が誕生。同年11月3日、沖縄市誕生市民祭典の場で、「兄弟都市宣言」が調印されました。現在では、豊中まつりで沖縄の伝統芸能や物産が紹介されたり、両市の少年少女サッカーチームが毎年相互に訪問し、試合を行うなど盛んに交流が繰り返されています。兄弟都市というのは、沖縄の「いちやりばちよーでえー(出会えば皆、兄弟)」という言葉に由来しているといわれています。



兄弟都市宣言に署名する下村輝雄豊中市長(左)と町田宗徳沖縄市長(右)



豊中市役所第二庁舎竣工を記念し、沖縄市から「友好のシーサー」贈呈(平成4年(1992年)11月)



沖縄市役所新庁舎竣工を記念し、豊中市から「友好の壁画」贈呈(平成5年(1993年)4月)



兄弟都市提携30周年 記念交流式典(平成16年(2004年)8月)

## 兄弟都市交流の主なあゆみ

昭和39年(1964年)	コザ市から豊中市へ霊石と仏桑華(ハイビスカス)が贈られる
昭和46年(1971年)	沖縄こどもの国に「少年の像」建立
昭和49年(1974年)	沖縄市誕生(4月1日) 兄弟都市宣言(11月3日)
昭和52年(1977年)	「豊中市・沖縄市少年少女合唱演奏会」を開催
平成4年(1992年)	沖縄市から豊中市役所第二庁舎竣工を記念し、「友好のシーサー」贈呈
平成5年(1993年)	豊中市から沖縄市役所新庁舎竣工を記念し「友好の壁画」贈呈
平成7年(1995年)	沖縄市及び関係団体から阪神・淡路大震災の災害救援金と救援物資が送られる
平成9年(1997年)	沖縄市にスポットをあて「おっきなわ」をテーマとした豊中まつりが開催される(以後、毎夏、沖縄の文化・芸能を紹介)
平成10年(1998年)	豊中市少年少女サッカーチームRFCと沖縄市サッカーチームとの交流が開始
平成16年(2004年)	兄弟都市提携30周年 「豊中まつり」及び「豊中市・沖縄市兄弟都市提携30周年記念交流式典」開催
平成24年(2012年)	豊中まつりにて沖縄市料理飲食業組合「Aランチ」を販売。チャンプルー博覧会にて、「豊中ナイト」、「コザNight in とよなか」を開催
平成26年(2014年)	兄弟都市提携40周年 「豊中市・沖縄市兄弟都市提携40周年記念式典」及び「市民大交流会」を開催



第1回 RFC沖縄遠征合宿(平成10年(1998年)3月)



豊中まつりでは沖縄の文化・芸能を紹介



沖縄こどもの国に豊中市が贈った「少年の像」

# 兄弟都市提携40周年事業

昭和49年(1974年)11月3日、豊中市と沖縄市は「兄弟都市」を宣言し、以降、さまざまな分野で交流を図ってきました。本市では、平成26年(2014年)に兄弟都市提携40周年を迎えることから、「人と文化の絆を未来へ」をテーマに、次世代の学びと相互理解を進め、友好と信頼の絆を未来につないでいくため、平和、教育、文化などさまざまな分野で周年事業を実施しました。

## 広報

### 兄弟都市提携40周年を記念したロゴマーク

ロゴマークをデザインしたのは沖縄市在住で、沖縄国際海洋博覧会ポスターやオリオンビール桜缶イラストなどで知られるデザイナー・仲地のぶひでさん。

緑の豊中市と、青い空・海の沖縄市が、「ちよーでー・ちゃんぶるー(沖縄の言葉で「ちよーでー」は「兄弟」、「ちゃんぶるー」は「混じる」あわせて「兄弟交流」を意味します。))」で交じり合うハートと、高校野球発祥の地や空港、三線、ハイビスカスなど、両市の魅力が描かれており、これまで以上に温かなつながりと新たな価値を創造していく思いが込められています。

関連事業のチラシやポスターの表紙などに使われるなど、兄弟都市提携40周年記念の象徴となっています。



沖縄市エイサーキャラクター「エイ坊」



兄弟都市提携40周年記念ロゴマーク

### 広報誌で兄弟都市を紹介

平成26年(2014年)9月、10月にはコラムでお互いの市を紹介するとともに、兄弟都市提携40周年を迎える11月には、両市の広報誌において特集記事を掲載し、「兄弟都市」について広く広報しました。これまでの両市の交流のあゆみや提携40周年を記念した取り組みの紹介、関係者のインタビューなどを掲載し、市民の皆さんに兄弟都市について知っていただく機会となりました。



豊中市の広報番組「かたらいプラザ」でも提携40周年を特集



広報とよなか 11月号の特集記事

広報おきなわ 11月号の特集記事

### 交流のあゆみ写真展

9月29日～10月3日 / 豊中市役所  
10月13日～10月17日 / 庄内公民館  
10月27日～10月31日 / 千里公民館

市内の公共施設で、両市のこれまでの交流の様子を紹介する写真展を開催しました。昭和49年(1974年)に沖縄市と兄弟都市宣言を調印したときの様子や、平成2年(1990年)に豊中市役所前で沖縄の伝統芸能・エイサーが披露された際の様子、両市の市民が交流する様子の写真などを展示し、兄弟都市とのあゆみを紹介しました。



豊中市役所での展示

# 平和

豊中市では、昭和58年(1983年)に「非核平和都市宣言」を行い、翌年から8月を平和月間と定め、人権に根ざした平和なまちづくりを進めています。平成26年度(2014年度)は、兄弟都市提携40周年を迎えるにあたり、沖縄戦及び戦後史について知ってもらい、平和について考えてもらえるような取り組みを行いました。

## 中学生平和大使相互交流学習

7月28日～30日 / 沖縄市

豊中市内の中学生9人が平和大使として沖縄市を訪問し、戦争体験者からお話を聞いたり、沖縄市の中学生と戦争や平和について意見交換を行うなど、交流を通じた平和学習に取り組みました。

- 訪問内容: 1日目 = 戦争体験者講和聴講、中学生平和大使交流会  
2日目 = 嘉手納飛行場内史跡など沖縄市戦跡めぐり  
3日目 = 那覇市内史跡など見学



両市の中学生平和大使が意見交換



旧日本軍戦闘機格納庫を見学(嘉手納飛行場)



中学生平和大使の皆さん(平和大使学習報告会)

成果発表

## 平和講演会・平和大使学習報告会

9月6日 / 豊中人権まちづくりセンター

沖縄市職員のおおきさんをお招きし、「沖縄戦と戦後復興」をテーマに、沖縄戦及び戦後史、沖縄を取り巻く平和問題について幅広くお話しいただきました。

平和講演会の後は、豊中市の中学生平和大使による相互交流学習の報告会が開催され、3日間の平和交流の内容紹介や、そこで学んだ沖縄戦、戦時中の衣食住の状況や学徒隊、基地問題などについてグループごとに発表しました。



恩河さんによる平和講演会



沖縄市エイサーキャラクター「サーちゃん」

## 平和資料巡回展

- 7月14日～18日 / 豊中市役所
- 7月22日～27日 / 市民ギャラリー
- 7月29日～8月3日 / 蛸池公民館
- 8月6日～13日 / 中央公民館
- 8月22日 / ローズ文化ホール
- 8月23日～26日 / 千里文化センター「コラボ」

市内6か所で、沖縄市からお借りした沖縄戦の資料や写真パネルを展示しました。



# 教育

## 小学生テレビ会議

豊中市と沖縄市の小学生が、兄弟都市への理解と相互の信頼関係を築くため、ウェブTV会議システム等を活用して、平和や環境、文化などを共通の学習テーマにした交流学习に取り組みました。

■豊中市立庄内小学校5年⇄沖縄市立北美小学校5年

第1回	4月17日	校長、担任などによる交流学习指導計画打合せ
第2回	5月30日	学校等の紹介
第3回	6月10日	社会科 さまざまな土地のくらし

■豊中市立上野小学校6年⇄沖縄市立比屋根小学校6年

第1回	10月31日	両校顔合わせ・両市の紹介
第2回	11月17日	社会科 平和学習①広島原爆・豊中空襲等
第3回	12月3日	社会科 平和学習②沖縄戦



6月10日の豊中市立庄内小学校と沖縄市立北美小学校のテレビ会議では、お互いの地域の風土や文化について紹介しました。また、沖縄の小学生らが沖縄の伝統楽器・三線を演奏する中、豊中の小学生らが沖縄民謡「ていんさぐぬ花」を歌いました。

## 学校給食に沖縄食のメニューが登場!

沖縄の食文化を紹介し、兄弟都市をもっと身近に感じてもらうと、市内小学校の給食で、沖縄料理が提供されました。

沖縄慰霊の日である6月23日には、沖縄そばやゴーヤチャンプルー、兄弟都市宣言調印日直前の10月31日には沖縄風豚の黒蜜かけが給食献立として並びました。



画面を通して、自己紹介する小学生

献立は、沖縄料理のにんじんのしりしり、フーチャンプルー、苦瓜とみょうがの和え物、かちゅーゆ

## 長寿の秘訣 沖縄料理に学ぶ

10月20日 / 中央公民館

沖縄料理の作り方など、沖縄の食文化や長寿の秘訣について紹介しました。

## 中央公民館まつり

10月24日～26日 / 中央公民館

公民館まつりにおいて、沖縄の物産展、琉球舞踊体験、沖縄民謡の発表、沖縄料理レシピやハイビスカスの展示、紅型染め体験、しまくとぅば(島言葉)の紹介コーナーなど沖縄に関連した催しを開催しました。



## 三線とギターが奏でる 沖縄コンサート

6月30日 / 庄内公民館 ロビー  
出演: 石川陽子さん(琉球島歌唄者)  
久保田晃平さん(八重山古典民謡保存会教師)

庄内出身の島歌唄者をお迎えし、三線とギターというジャンルの異なった楽器をコラボさせた沖縄民謡演奏会を開催しました。



## 島唄が結ぶ平和の心

8月29日 / 千里公民館 集会場  
講師: 牧 志徳さん(琉球(奄美沖縄)しまうた文化を考える会 会長)

三線による島唄の演奏会と島唄の背景にある沖縄の歴史と文化を学ぶ、多文化共生をテーマとした講演会を実施しました。



## コラボまつり企画 島うた演奏

10月18日 / せんちゅうパル 北広場  
出演: 島うたユイ・ゆい

島唄三線サークルが野外の特設ステージで唄と踊りを披露しました。



沖縄県外  
初公演!

## 文化芸術

### 沖縄市市民ミュージカル「コザ物語」

8月22日 / ローズ文化ホール

終戦後のコザで、親を失い行くあてもない子どもたちに生涯をささげ、「基地の街のお母さん」と慕われた島マスさんをモデルに誕生した市民ミュージカルを上演しました。

出演者は、沖縄市の小学生・中学生を含む44人で、この公演のため、何か月も練習を重ねてくれました。大迫力の演出や、笑いあり涙ありの感動のステージが繰り広げられる中、盛況のうちに幕を閉じました。



出演者・スタッフのみなさんを歓迎する浅利豊中市長

### 照屋林賢・上原知子(りんけんバンド) 三線ワークショップ

10月1日 / ルシオーレホール

講師：照屋林賢さん、上原知子さん

沖縄音楽を代表するグループ「りんけんバンド」による三線経験者を対象とした三線指導のワークショップと演奏会を開催しました。



浅利豊中市長(中央)を表敬訪問する照屋林賢さん(右)、と上原知子さん(左)

### 「りんけんバンド」

リーダーの照屋林賢さんが昭和52年(1977年)に結成以来、三線や島太鼓などの沖縄の伝統楽器と、キーボードやベースなど現代的な楽器を融合させた「沖縄ポップ」という新しい音楽を作り出すなど、沖縄のミュージックシーンをけん引しています。

### 文化芸術団体の沖縄市文化祭参加

展示 平成26年(2014年)12月5日~7日 / 沖縄市体育館

舞台 平成27年(2015年)1月30日・2月1日 / 沖縄市民小劇場「あしびなー」

協力：豊中市文化芸術連盟、豊中市美術協会

出演：天羽会、豊中市合唱協会



豊中市美術協会会員の作品を展示



豊中市合唱協会による合唱の披露



日本舞踊を披露した天羽会の皆さん

兄弟都市提携40周年を記念し、「沖縄市文化祭」に豊中市文化芸術連盟加盟の天羽会と豊中市合唱協会、豊中市美術協会が参加。沖縄市民の皆さんと交流を深めました。

## スポーツ

### 北摂連盟杯(主催：豊中市少年少女サッカー連盟)

平成27年(2015年)1月31日・2月1日 / 服部緑地公園ほか  
協力：豊中市少年少女サッカーチーム RFC

全国から72チームの少年少女サッカーチームが参加した大会に、兄弟都市提携40周年を記念し、総勢20人の沖縄市選抜チームが出場しました。



試合中の沖縄市選抜チーム(赤のユニフォーム)



豊中市役所を訪れた沖縄市選抜チームの皆さん

### 兄弟都市の子どもたちがスポーツ交流

8月23日 / 豊中市立緑地小学校

協力：豊中市少年少女サッカーチーム RFC

沖縄市市民ミュージカル「コザ物語」の出演者とRFCの子どもたちとの交流会が開催され、ドッジボールやキックターゲットなどのスポーツを通して友情を深めました。



白熱！ドッジボール対決



昼食に RFC の保護者の方がカレーライスをふるまいました。

### 豊中市少年少女サッカーチーム RFC

豊中市少年少女サッカーチーム RFC と沖縄市(泡瀬・美原・美東)の3チームは、平成10年(1998年)から毎年3月に相互に訪問し、親善試合やホームステイなどを通して友好を深められてきました。

この交流事業に関わった選手、指導者、保護者、サポーターの方々が個々の交流はもとより地域性も含めた交流も深めてほしい、また、選手の皆さんが中学生、高校生、大学生または社会人になっても未永く交流できる友だち(兄弟)をたくさん作ってほしいとの思いが、これまでの17年間の交流につながっています。



### コザ高校ラグビー部 公開練習

12月24日 / マリンフード豊中マルチグラウンド

協力：豊中市ラグビーユニオン、豊中まつり実行委員会

沖縄市のコザ高校が沖縄県の代表として、2年ぶり(13度目)に全国高等学校ラグビーフットボール大会(12月27日開幕)に出場することになり、試合を前に豊中市内で公開練習を行いました。



豊中市からコザ高校へ応援メッセージが書かれた横断幕が手渡されました。

### 豊中コザ高市民応援団(主催：豊中まつり実行委員会)

12月28日・12月30日 / 近鉄花園ラグビー場

協力：豊中市ラグビーユニオン

全国高等学校ラグビーフットボール大会に出場するコザ高校を豊中市民で応援しようと企画されました。花園に集まった市民応援団の皆さんは旗を振りながら選手に向けて熱い声援を送りました。



近鉄花園ラグビー場には、多くの豊中市民が駆けつけました。



沖縄市エイサーキャラクター「たーくん」

## 産業

### とよなか産業フェア

11月15日 / 千里文化センター「コラボ」、  
せんちゅうパル北広場

市内産業や企業の魅力を市民に知ってもらう「とよなか産業フェア」に沖縄市との交流のあゆみを紹介するコーナーを設置しました。



交流のあゆみを紹介するコーナー



### 豊中市農業祭

11月22日 / 豊島公園

農業祭では、兄弟都市提携40周年を記念し沖縄市特産品コーナーを設け、くんちまベーコン・もずくてんぷら等の実演販売、サーターアンダギー・ちんすこう等の物産販売を実施しました。



沖縄市特産品コーナー



豊中市のPRブース

### 沖縄市産業まつり (主催：沖縄市産業まつり実行委員会)

平成27年(2015年)1月24日・25日  
沖縄県総合運動公園体育館及び周辺広場

沖縄市で作られている産品を一堂に集めた「沖縄市産業まつり」が開催され、特別出展として、豊中市のPRブースが設けられました。

## 行政間の交流

### 豊中市・沖縄市共同研究

研究期間：平成26年(2014年)8月～平成27年(2015年)3月  
参加者：豊中市 豊中市・沖縄市都市間交流の新たな展開に関する調査・研究グループ(6人)

沖縄市 沖縄市政策研究会(7人)

両市の市政運営と都市間交流のさらなる活性化に寄与することを目的として、沖縄市の政策研究会メンバーと豊中市の職員グループが共同研究を実施しました。研究内容としては、兄弟都市交流の歴史・経緯の整理や交流の現状把握調査のほか、都市間交流の今後の展開に向けての検討などを行いました。

今後も研究内容をもとに、兄弟都市提携50周年を見据えた取り組みを推進していく予定です。

### テレビ会議「ちよーでー(兄弟)会議」

平成25年(2013年)10月1日～

豊中市と沖縄市は40周年事業を通して、さらに両市の交流を深め、顔の見える関係を築きながら、さまざまな事業を進めていこうと、インターネットのテレビ通話システム「スカイプ」を使った会議を実施しました。

月1回のペースで開催されたこの会議では、40周年事業開催に向けての広報手段や記念式典、平和・人権交流などの進め方について意見交換が交わされ、フェイスブックの企画コーナーをはじめ、両市で連携した広報活動を展開しました。



両市共同で実施した会議



「沖縄こどもの国」を視察



テレビ通話システムで両市の職員が打ち合わせ

## 記念式典

(主催：沖縄市)

### 11月8日 / 沖縄市 コザミュージックタウン音市場

記念式典には、これまで両市の交流に携わってきた関係者や市民など総勢300人が参加しました。うち、豊中市からは市長、市議会議長、市民など130人が参加。沖縄市の皆さんとともに40周年を祝いました。

式典では、桑江朝千夫沖縄市長と浅利敬一郎豊中市長からこれまでの交流に尽力してきた両市民に対する謝意と友好関係の更なる発展に向けた決意が述べられました。

出席者は、これまでの交流のあゆみを振り返り、今後も一層の交流を図っていこうと「兄弟都市40周年共同宣言」を採択しました。



共同宣言に署名した浅利豊中市長(右)と桑江沖縄市長(左)



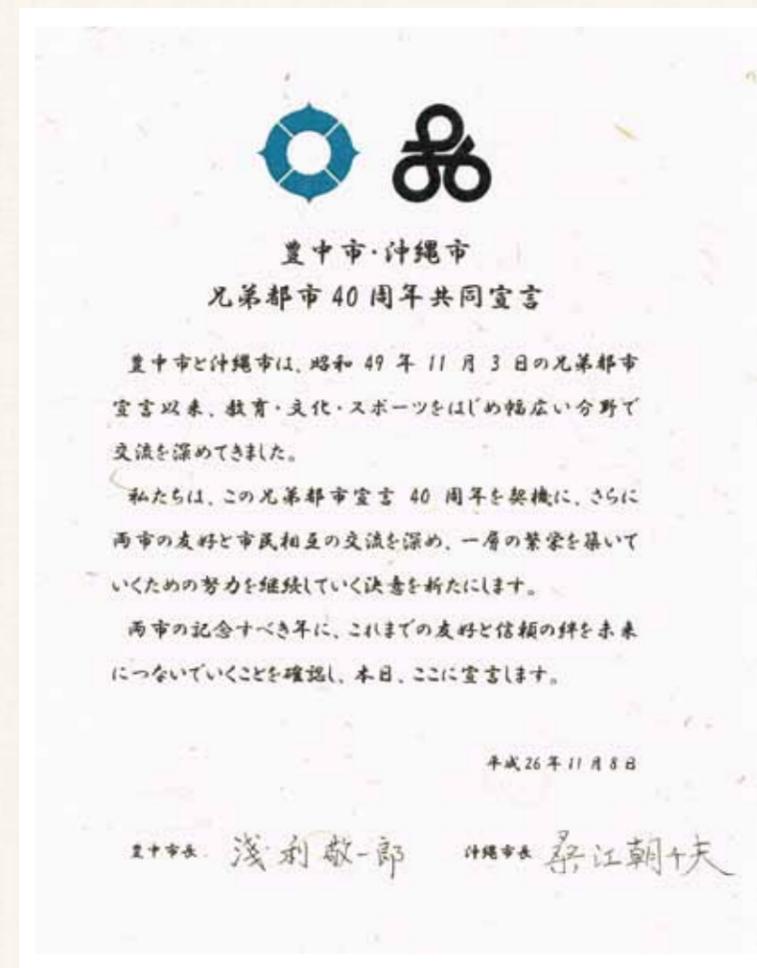
大阪音楽大学の皆さんによる演奏で幕開け



挨拶をする浅利豊中市長



これまでの両市交流のあゆみを映像で紹介



これまでの友好と信頼の絆を未来につないでいくことを確認する共同宣言文

### 次第

- |            |                |                   |
|------------|----------------|-------------------|
| 1. 開会      | 声楽 大阪音楽大学      | 4. 兄弟都市のあゆみ紹介(映像) |
| 2. 主催者あいさつ | 沖縄市長 桑江 朝千夫    | 5. 文書交換           |
| 3. 来賓あいさつ  | 豊中市長 浅利 敬一郎    | 6. 閉会             |
|            | 沖縄市議会議長 晋久原 朝健 | 7. 記念撮影           |
|            | 豊中市議会議長 平田 明善  |                   |



豊中市キャラクター「マチカネくん」

# トピックス

## 沖繩市役所ロビーコンサート

式典前日の11月7日には、大阪音楽大学の齊戸英子さん(ソプラノ)、野々村彩乃さん(ソプラノ)、前川裕介さん(ピアノ)が、沖繩市役所でランチタイムロビーコンサートを開催。沖繩民謡の「ゆうなの花」、「芭蕉布」などを披露しました。なお、出演者の皆さんは、記念式典のオープニングでも美しい演奏で、提携40周年に花を添えてくださいました。



齊戸さん(右)、野々村さん(中央)、前川さん(左)

美しい演奏に耳を傾ける沖繩市民の皆さん



# 市民大交流会

(主催：沖繩市 共催：豊中まつり実行委員会)

## 11月8日/沖繩市 コザミュージックタウン音市場

兄弟都市提携40周年を両市民で祝い、一層の友好と交流を深めようと開催されました。兄弟都市ソングのお披露目やエイサー舞踊、地元ミュージシャンによる演奏などで、会場は大いに盛り上がりました。



最後は両市民がステージでカチャーシーを踊りました



沖繩の伝統芸能



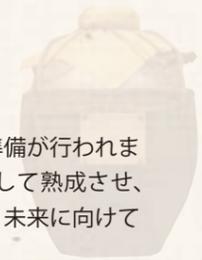
両市のキャラクターが勢ぞろい



かめに泡盛を入れる両市民の皆さん

## みんなで泡盛古酒づくり!

交流会では、早くも10年後の兄弟都市提携50周年に向けた準備が行われました。両市の市民によって甕に入れられた泡盛を10年間貯蔵して熟成させ、50周年の際にその泡盛で乾杯しようというイベントが行われ、未来に向けて交流の輪をつなげようという両市民の思いが形になりました。



## 市民交流ツアー沖繩3日間の旅

11月7日~9日

兄弟都市提携40周年記念を沖繩市で祝い、沖繩市民との交流を楽しむ3日間の旅(企画協力：豊中まつり実行委員会)。ツアー参加者の中には、「市民大交流会」や現地の市民ガイドによるまち歩きツアー(協力：沖繩市観光協会)に参加するなど、積極的に沖繩市民の皆さんと交流する姿も見られました。



ツアー参加者を歓迎する沖繩市の皆さん(那覇空港)



沖繩市の名所を案内する市民ガイド

# 豊中まつり

(主催：豊中まつり実行委員会)

「市民がつくる市民のまつり」として知られる豊中まつりは、毎年、沖繩をメインテーマとしたステージ「沖繩音舞台」を設置していることもあり、活発な市民間交流が育まれる場となっています。兄弟都市提携40周年を迎える平成26年度(2014年度)は、沖繩市観光協会など多くの関係団体の協力をいただき、さまざまな催しを実施しました。

## 前夜祭/8月1日

### エイサー道ジュネー/旧能勢街道、岡町・桜塚商店街

出演：沖繩市東青年会

沖繩市から派遣された青年会のメンバーが、沖繩の伝統行事であるエイサーを踊りながら通りを練り歩く「エイサー道ジュネー」を実施しました。



商店街を練り歩くエイサー隊

### 市民交流会/ホテルアイボリー

豊中まつり前夜祭として、100人を超える沖繩市民の皆さんをお迎えし、両市の市民交流会を実施。沖繩市東青年会によるエイサー披露、マチカネくん体操コンテストや参加者全員によるカチャーシーなどで会場は大いに盛り上がりました。



沖繩市エイサーキャラクター「さなじい」



両市民によるカチャーシー

## 「豊中まつり2014」

8月2日・3日/豊島公園、アクア文化ホール

「沖繩音舞台」ゾーンでは、兄弟都市40周年を記念して、沖繩市東青年会によるエイサー演奏、沖繩音舞台オールスターズユニットによる演奏等の特別イベントを実施し、例年にも増して熱い沖繩のステージとなりました。

また、アクア文化ホールでは、エイサーにも使われる沖繩の締太鼓をつくるクラフト教室と、つくった締太鼓を使用した演奏会、エイサー体験のほか、沖繩市を舞台にお笑いコンビ・ガレッジセールのゴリさんが監督・出演した映画「ロクな人生」の上映会を開催。多くの豊中市民の皆さんに、沖繩文化に触れていただく機会となりました。



沖繩の締太鼓をつくる子どもたち



つくった締太鼓のたたき方を伝授する沖繩市観光協会の職員



沖繩音舞台には本場のエイサーを見ようと多くの観客が来場しました



沖繩市東青年会の指導によるエイサー体験